



空き店舗  
対策としての「スイーツ  
ガーデン構想」を見直し、今後は、  
「スイーツを切り口とした中心市街地  
の活性化」を目指して、ぎふのまちの継  
続的な賑わいに繋げます。

また、柳ヶ瀬にはぎふの中心市街地として、  
多くの人々やモノを受け入れる箱が既に整っています。後はそこに、ぎふの魅力というエッセンスを持った団体や、夢や志を持った個人を岐阜青年会議所が柳ヶ瀬に繋いでいくことで、中心市街地という箱にぎふの魅力が詰まっていき、何時しか柳ヶ瀬は多種多様な夢が実現するまちへと変貌するでしょう。そして、それが文化となったとき、ここにしかない「ぎふの魅力」の玉手箱がぎふブランドとなり、中心市街地の継続的な賑わいへと繋がっていくのではないでしょうか。

2012年度  
中心市街地活性化委員会  
委員長 石田 昌平

## 2012年度中心市街地活性化委員会

副理事長 森井 隆裕  
委員長 石田 昌平  
副委員長 大西 純司、古賀 義浩  
福田 克彦、岩井 康志  
委員 上田健太郎、加納 岳人、神田 泰作  
小石賢一郎、小谷 敏啓、佐藤 竜彦  
住谷 哲、磯谷 満、久江 元也

# 「中心市街地の新たな可能性」検証報告



## これまでのスイーツフェスタにおける柳ヶ瀬での成果

### スイーツフェスタぎふ 2008

スイーツを切り口とした中心市街地活性化の有効性を検証。

### スイーツフェスタぎふ 2009

柳ヶ瀬や一般市民を巻き込んだ市民会議を発足。  
やなモナややなマップなど、地元柳ヶ瀬との連携を行った。

### スイーツフェスタぎふ 2010

1週間継続開催することで、実際のガーデンをイメージ・  
出店検討をしてもらった。  
柳ヶ瀬の喫茶店にやなカフェが定着。

### スイーツフェスタぎふ 2011

空き店舗ツアーが岐阜市にぎわいまち公社に引き継がれた。  
柳ヶ瀬123で、スイーツを使った イベントが開催され、  
スイーツコンテスト優勝作品が販売された。

### スイーツフェスタぎふ 2012

スイーツコンテスト優勝作品の商品化、空き店舗ツアーの開催、ヤナカフェの開催など、スイーツを切り口とした中心市街地活性化が引き続き柳ヶ瀬に引き継がれている。また、まちづくり実行委員会によって、①子ども、②体験型、③繋がり、④柳ヶ瀬のごちゃ混ぜした中でのなつかしさやワクワク感、といった市民目線のキーワードが成果として残った。

「スイーツガーデン構想」とは  
県都岐阜市に賑わいを取り戻すために、  
2007年、岐阜青年会議所が経済面での  
個性＝「ぎふブランド」を中心市街地に  
創ることを提言しました。岐阜の特産品や歴史的背景、立地条件より「ぎふ  
ブランド＝スイーツ」を考え、中心市  
街地にスイーツに関連する企業や店舗  
を誘致し、テーマパーク型ストリート  
を創り出すことでまちに人を惹きつけ  
る「スイーツガーデン構想」を提言し  
ました。